

(1) 開会

① 開会あいさつ(校長)

・昨年度からコミュニティースクールの活動に力を入れている。今年度は外部の方を校内に招いての活動を中心に実施した。この後、生徒が発表する。来年度への計画にもご助言ください。

② 本日の日程(副校長)

(2) 報告

① 『セイモンスクール』各プロジェクトの活動報告

・スライドにて副校長が説明(セイモンスクール推進本部 地域学校協働活動推進発展研修参加、トップアスリート派遣事業【空手・サッカー】、せいび祭、芸術鑑賞会、しめ縄づくり、セイモンクリーン大作戦、小学部音楽「大正琴」、きずなの花運動、作業学習見学会、障がい者週間「作品展」、福祉避難所見学会など)

・小学部4年生の発表「地域の方とサツマイモの苗植え」(代表児童2名が発表)

・高等部1年生「地域型実習」(代表生徒2名が発表)

ケアハウス四季が丘、ゆめタウン井原販売学習など

・コミュニティースクール参加者アンケートの結果(副校長)

参加して下さった地域の方、保護者からは、地域連携の必要性や今後の協力について前向きな意見を多くいただいた。

② 学校評価結果報告(副校長) 別紙:学校評価書参照

・アンケート回収率は保護者84%、教職員100%

・保護者アンケートは昨年度より上昇している項目が複数あった。課題については、昨年より数値は上がっているものの、同様の項目であった。

・教職員のアンケート、地域の方の教育力の活用の項目が大きく上がっている。

・来年度へ向けて具体的な取り組みを確認し、反映させていく。

③ 人権・生徒指導関係の取組報告(生徒指導主事)

・年間の主な取組

・主な取組の具体的な説明

(3) 協議1(進行:会長)

① 学校評価について

・先生方が子ども達のことをよく考えて色々な取組をしてくれている。

・関係機関との連携の項目が少し低かった。保護者としては進路についての不安が大きいので早めに繋がって、情報が欲しいなどの思いが強い。

・ケース会議に参加することがあるが、学校の情報が施設に届くのが遅い。リアルタイムに支援をしているので、情報は逐一欲しい。

・思ったことは学校にすぐ言うようにしている。デイサービス先にも同時に伝えている。正三角形の関係を意識している。このことにより、デイサービスが学校に見学に行ってくれありがたい。

協議2

② 令和8年度学校経営計画(案)(校長)

・紙資料・スライドをもとに説明。

・学校経営目標に「地域との協働を生かした」という文言に変更。

・5つの具体的な項目を発表

本年度の学校評価の結果を具体的に計画に落とし込み、充実したものになっている。今後の検証が重要。

- 休憩 \*高等部3年生徒による接遇実演（お茶出し）  
\*製菓班のクッキー配付

### 協議3

#### ③ セイもんスクール来年度の取組計画（グループに分かれて計画）

##### 地域セイもんプロジェクト

- ・ゆめタウン井原の販売がとても良かった。野菜が豊富な時期にできないか。（他の販売活動との関係で野菜以外の製品作りが難しい。）
- ・ゆめタウン井原の販売をもっと宣伝して欲しい。知らなかった。（ブログなどで発信する）
- ・活動場所の選定が公共交通機関の関係で難しい。井原のJAさんが井原のバスセンター前に移転するので行きやすい。
- ・休日に地域でのイベントはよくあるが、平日はあまりない。小さなものでも参加することには教育的効果大きい。
- ・ペットボトルの回収量は作業量に見合っているのか。（丁度よい）
- ・クラブ活動について、地域のクラブ活動への参加も考えてはどうか？

##### 学校セイもんプロジェクト

- ・セイもんマルシェ、外部の団体を招いての販売やボランティアの活用について今後より工夫が必要。
- ・参観日について、子ども達の活動を保護者も体験してみたい。
- ・生徒参加の講演会に保護者も代表で良いので参加してみたい。
- ・民生委員事務局に直接おろしていけば、ボランティアも集約もできる。
- ・児童生徒の学習内容を保護者も体験したい。人権生徒指導関係の学習も保護者に内容を伝えていったらよい。
- ・民生委員に元西備支援学校の教員が新任しているので、来年度以降ご協力いただきたい。

#### (4) 指導・助言

- (A 委員) 保護者や学校との連絡を密にしていきたい。ブログなどでもっと発信を。せいび祭については感想等を別紙にまとめて副校長に渡している。
- (B 委員) 先生方に感謝している。こんなことができるということを学校がたくさん発見してくれていてありがたい。小から中に上がって色々な成長が見られる。食べる物も変わった。
- (C 委員) 地域学校協働活動推進委員として2人だと、ボランティア募集の集約が難しい。学校運営協議会の各委員にも協力してほしい。
- (D 委員) 地域型実習を受けている。受け入れる我々も気づきが多い。利用者にもよい刺激になる。サービスの向上。質の向上を求めれば求めるほど働き方に工夫が必要。
- (E 委員) 「わくわく」、「楽しく」のキーワード、笠岡学園も同じキーワードで取り組んでいる。子ども達が好きなこと楽しいことをしっかり見つけてきっかけにして療育をしたい。子どもも職員も楽しい。外部に知ってもらうことは施設でも課題。知ってもらう努力が必要。
- (F 委員) 今年度から大井小学校は参加した。総合で交流学习をさせてもらっている。それぞれの児童に学びがあった。同じ地域の中で連携できていることを今日感じた。
- (G 委員) 地域の方の情報は多くすごい。私たち自身も地域への活動に参加することが大切だと感じた。高齢者などに感謝する機会を先生方が子ども達に与えてくれているのがありがたい。まずは先生方や保護者が元気に活動することも大切。
- (H 委員) 最初に比べると地域連携がすごくすすんだと感じている。移行支援会議に今参加している。学校評価の中に先生方の引き継ぎがうまくいっているという意見があったが、地域への引き継ぎも重要だと感じた。
- (I 委員) 教員ではない立場で学校に勤務している立場として思うのは、保護者との関係を大切にしてほしいということ。関係機関も大切だが一番は保護者の思いを大切にしてほしいと思う。

(5) 閉会 会長あいさつ

- ・各委員の方の話、全て私も経験したことでよく分かる。今後も協力をよろしくお願ひします。
- ・3回を通して学校運営協議会の雰囲気がパワーアップしてきた。今後も学校をみんなで支えていきたい。

(6) その他

- ・E委員より  
2月7日(土曜日)、公開講座の御案内「ちょっと気になる子どもたちへの発達支援」